

アプリケーションカタログ インドフェノール溶液のファクター

関連業界	:	無機工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸化還元滴定
関連規格	:	-

1. 概要

既知濃度のL-アスコルビン酸を試料としてインドフェノール溶液で滴定を行い、終点までの滴定量を比例換算することによりファクターを求めます。

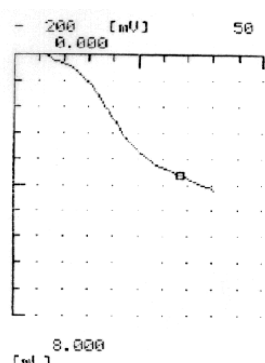
2. 装置構成

本体 : 電位差自動滴定装置 (プリアンプリファイア: STD)
電極 : 複合白金電極

3. 試薬

滴定液 : インドフェノール溶液
(2,6-ジクロロフェノールインドフェノール 0.3948gを純水で1000mLにしたもの)
標準物質 : L-アスコルビン酸

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Factor
1	0.0203	3.7384	0.2715
2	0.0203	3.7280	0.2723
3	0.0203	3.7600	0.2699
平均			0.2717
標準偏差			0.0012
RSD (%)			0.45

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>